

大宜味村農業委員会だより (12 月号)

12 月 25 日のクリスマスには菊ミネーションを...



第 16 期第 26 回農業委員会総会結果 開催日：10 月 29 日			
番号	議案	件数	可決数
68	農業経営基盤促進に基づく農地利用集積計画の承認について	2	2
69	農地法第 3 条の規定による許可申請について	2	2

申請地域
喜如嘉・白浜・大保

12 月の各種申請締切は
10 日(火) です。



農業経営改善計画及び青年等新規就農計画の認定について 《産業振興課より》

産業振興課では上記の認定について、村が策定した目標に対し 5 年後をめどに達成する計画を認定する、認定農業者及び認定新規就農者の希望者を募集しています。認定農業者のメリットとしては農業経営基盤強化資金（スーパーL 資金）（長期低利融資）を受けることが出来ます。

また、認定新規就農者には青年等就農資金（3,700 万円までの貸付・無利子）を受けることが出来ます。それぞれ沖縄振興開発金融公庫においても審査が行われます。

さらに、これらの認定者には青色申告が出来るようになるための農業簿記講座を無料で受講することが出来き、更に収入保険に加入することもできます。

受付は随時行ない、書類が整い次第審査会を開催し認定をします。

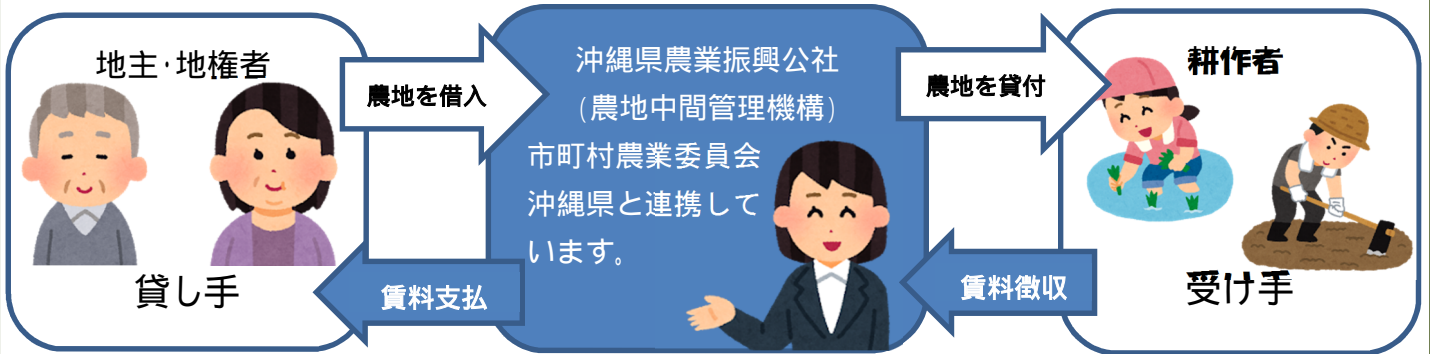
担当：産業振興課 農政係 住 秀和 ☎ 0980-44-3232

沖縄県農業振興公社（農地中間管理事業）

機構に貸し出すメリット

決まった年数だけ貸し出すことができます。契約期間が終了すれば農地は戻ります。機構が責任をもって預かり、認定農業者など適切な受け手を選定し、転貸します。契約期間中の賃料は、公社が責任を持って所有者にお支払いします。面倒な賃貸借の手続き・管理も公社が行いますので安心です。 等々

～ 中間管理機構の仕組み ～



公社がお貸し出来る耕作者の要件

認定農業者、認定新規就農者、今後認定予定の方、公募への応募者（随時受け付け中）

令和元年度女性農業委員・農地利用最適化推進委員交流研修会に参加して

10月31日、11月1日の2日間北部地区の女性農業委員・農地利用最適化推進委員の交流研修会が開催されました。

1日目はホテルゆがふいんおきなわでの講演会、2日目は株式会社又吉農園、なごアグリパークにて視察が行われました。

大宜味村からは宮城美和子委員と前田俊推進委員の計2名が参加しました。



～研修会に参加しての感想～

宮城 美和子 農業委員

今回の研修会では、いくつかの演題の講演を聴きました。その中で私はうるま市の取り組み（農地利用最適化に向けて農業委員が果たすべき役割）について驚かされました。

うるま市は4市町が合併し大きな組織になったにも関わらず、人・農地プランを基に農業委員、推進委員、農家さんとの連携の良さを強く感じたからです。

具体的な取り組みとして、地域からの意見要望を集約し、良かった点、改善点を明確にする事で、次年度に向けての課題整理や解決を行っている事や、耕作放棄地50aを農業委員会会長名義で借り受け、耕作放棄地再生事業を導入し、優良農地へと再生させた後、新規就農者へ貸し出ししていることには感動しました。

残念ながら、昨年度で耕作放棄地再生事業は終了しましたが、大宜味村にも現在多数の耕作放棄地が存在しているため、農家、農業委員会、役場が連携して問題解決に取り組める方法を模索したいと感じました。

前田 俊 農地利用最適化推進委員

農地利用最適化推進委員になって2年が経った。

この間、研修会で毎回顔を合わせる他市町村の委員の方たちにやっと顔と名前を覚えてもらう事ができ、ネットワークの広がりを実感してきたところだ。

現在、沖縄県本島内の28市町村では49名の女性農業委員(内9名が推進委員)が活躍しており、この研修ではその中から3名の先輩方の講演を聴いた。

講演者や講演内容については割愛させていただくが、この3名のお話を聴いているとそれぞれの農業経営や地域での活動には共通点があることにハッとさせられた。それは、「生身で人と接する機会が多い」ことだ。研修会、講習会、イベント出店、民泊受け入れ、飲み会など、他者との交流に重点をおく活動が中心である。とにかく人と接するのが好きなこと。これは意外と農業委員の業務には必要な心得かもしれない。

例えば、見ず知らずの他人にお金を貸してくれと言われても、ためらわずにスッと札を差し出せるほど私の懐は広くない。ましてや、それを今どきのLINEやメールを介して頼まれたら、お財布のクチャはムスッと閉じたままだろう。もし、これが家や農地の貸し借りとなればなおさらのことである。そう単純ではないが、やはり日頃から地域行事に参加し、見回り、声掛けし、顔を売って信頼を築く作業は農地保全につながると改めて感じた。

令和2年1月18・19日開催の大宜味産業まつり告知について《大宜味村青年農業者の会より》

先の9月16日(月)～20日(金)にRBCテレビで放送された、『気ままに口ハススタイル』の中で、大宜味村農業委員でもあり当会会長でもある松本政隆(田港)が紹介されたのを観ていただけましたか!?

その会長を中心に、現在、果樹、野菜、サトウキビ、菊、コーヒー栽培や養蜂を営む21人のメンバーで、村の農業の活性化に取り組んでいます。

活動の一環として、来月開催される大宜味村産業まつりに今回も出店し、私たちが手間暇かけて作り育てたシークワサー、タンカン、キンカン、バナナ、スイカ、トマト、さらにタピオカサンドやフライなどの加工品も販売する予定です。是非遊びに来てください!

化学肥料共同購入について 《JA大宜味支店購買》

村では農業振興を図る目的として、下記の要領で化学肥料の購入補助を行います。共同購入をすると村より購入額の2割を補助します。この機会に是非申し込みください。

化学肥料名：有機配合706号 20kg

申込期間：令和元年12月2日(月)～令和元年12月13日(金)

引渡期間：令和元年12月2日(月)～令和元年12月27日(金)

購入対象者：大宜味村内に住所を有する者。



有機配合706号

申込・お問い合わせ先 JA大宜味支店購買 ☎ 0980-44-3658